

市民活動促進委員会 第1回会議要録

2005.6.26(日)

コミュニティセンターやす研修室

開会(午後2時)

(事務局)ただ今から第1回市民活動促進委員会を開会したところ、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。4月に市民活動促進課が設置され、市民のみなさんに親しまれる課を目指していきますので、よろしくをお願いします。

あいさつ

(助役)第1回の市民活動促進委員会にお集まりいただき、午前中は、琵琶湖を美しくする運動にご協力いただいた方もあり、ありがとうございます。従来の自治会活動以外に、新しい様々な活動も増え、今日お集まりのみなさんは、まちづくり、環境など、いろいろな分野で地域に貢献いただいている方々です。特に旧野洲町ではそうした市民活動が多くなされ、検討委員会も設置されていた経過もあります。10月1日に野洲市が誕生して、こうした市民活動をベースにまちづくりを促進したいという思いであり、そのためには、市民のみなさんと膝を交えて意見したいという思いであり、市民活動の促進という視点を捉えて、市長の公約でもあるまちづくり条例にもつなげて参りたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

自己紹介

【略】

会議の内容

1. これまでの取り組み経過について

(事務局)別添資料で説明

2. 会議運営について

(事務局)委員会の設置目的は、設置要綱第1条に規定していますとおり、「人権と環境を土台に生きる意味が実感できる地域社会づくりをめざして市民が様々な分野で自主的かつ自立的に行う市民活動を促進する」ために設置されたものです。また、委員会の所掌事項としては、第2条に規定しており、市民活動を促進し、協働のまちづくりを推進する基本的な計画に関する事、とあります。具体的なイメージとして、旧野洲町の委員会で検討されてきた「市民活動の促進のための方向」を基に、市民活動促進計画を策定していくというものです。また、併せて、まちづくりの基本となる条例の素案に関して、協議していこうとするものです。それ以外にも、市民活動の促進に関することとして、それぞれの活動のなかで、課題とされていることや、促進に向けた取り組みについてご提案いただければと思います。

会議運営としては、要綱第4条において、委員会に会長及び副会長1人を置く、と

規定していますが、今回、第1回の委員会で初めて顔合わせということで、次回以降の委員会で互選いただくこととし、今回の会議は、事務局で進行させていただきます。

また、二点目として、委員会の情報提供として、開かれた委員会運営とするために、市HP等で委員会の内容を提供します。委員名簿、会議の開催予定、会議資料及び会議概要についても公開していきたいと考えます。会議の公開についても、原則公開とすることをお願いします。開催日については、次回の会議日程は、開催時間、曜日などを取り決めるかどうか、開催通知等は、電子メール又はファックスで行うことをご承知ください。

(事務局)開かれた会議にする意図から、情報提供していくということで、個人情報には十分留意して、会議要録等も公開していきたいと考えています。また、会長、副会長については、次回ということで、進めさせていただいてよろしいでしょうか。特に異議がなければ、進めさせていただきます。

(委員)会長は、〇〇さんを推薦します。

(事務局)それも含めまして、次回の会議で決定していくということをお願いしたいと思います。

3. 概略スケジュールについて

(事務局)最終的な成果としては、市民活動促進計画となるわけですが、3月までに6回程度は開催してはどうか、というスケジュール例であります。全体の会議とは別に例えば小グループの会議をしてはどうか、というご意見があれば、それに応じて開催していくということも考えています。また、このスケジュール例は、前回の野洲町での取り組みを参考に事務局で作成したもので、主には、アンケート調査、団体ヒアリング、データブックの作成のスケジュールをお示ししたものです。

(事務局)第2回目の会議については、このスケジュールでは少し先になりますが、どうでしょうか。

(委員)アンケート調査をどのような中身でやるか、その声を聞いて実施していくということでのよいのではないか。

4. 市民活動実態アンケート調査の実施について

(事務局)～実施要領案を概略説明～

本日、この中身を決定するということは予定していませんので、中身については、後ほど検討をお願いします。特に、団体の分類ですが、NPO法の分類では17分類ですが、前回の旧野洲町の分類において実態にそぐわないところや、活動実績がないと思われるところを整理されたもので、法との対照表を整理したものです。

(事務局)前回の野洲町の調査がベースとなっているが、中身を詰めていくということを踏まえてご意見をお願いしたい。

(委員)活動団体だが、他にも活動されている新規の団体の洗い出しなどの調査が必要ではないか、それを先行させたほうがよいのではないか。新規の団体については、HPで把握していくということもあるが、どうか。

(委員) 新たな活動も多くできてきているので、そういったものもピックアップしていけたらよいと思う。

自治会の範囲の対象団体についてはどうか、学区の団体など、人権推進協議会などはどうか。

(事務局) 自治会、大字区自身ではなく、それに付随されている団体は含めるべきであると思います。

(委員) 子ども会も入っています。

(事務局) 自治会自体を対象とするのではなく、市民活動団体を中心に対象としていきたいと考えています。

(委員) アンケートを調べただけで、具体の成果としてはなく、結局また、計画や冊子がつくられて終わりということではいけない。具体のビジョンが見えてこないといけないと思う。

(事務局) 政策の方向としては、検討委員会を野洲町で立ち上げたが、合併で中断した経過もあります。公的サービスは、みなさんの活動で実証されており、行政のサービスを任せていく、ということです。行政の指名競争入札の NPO 版ということに発展できればという思いでもあります。そうしたことは、過去の連携の中でも実証されているものであり、具体的にそうした裏打ちのためには、条例という制度の中でとりきめていけばよいのではないかと思います。

具体例として、「すまいる市」にしても、行政だけで実施していくことはできないもので、實際上、コミュニティビジネスとしても発展しています。障害者スポーツにしても、民の中で連携されて実施されており、どうサポートできるか、を議論していくものと考えます。

(委員) データブックができたということだけでは…、また、それをどのように展開していくか、ということだが、まず、団体を把握することは大切だと思う。団塊の世代が定年を迎えられ、企業市民のみなさんが、何をしようか、というときに、こんな市民活動があるんですよ、ということで紹介もできるし、せっかくの人材が埋もれてしまわないように、どうフィールドを用意するかという点が、活動団体の使命でもあるし、データを整理することが第1であると思う。

(委員) 老人会にも参加しているが、力のある人を有効活用していくべきだと思う。時間にも余裕のある人たちで、すごい大きな力になると思う。

(委員) まちづくりには、やりたい人がやるという純粋な団体と、自治会がこういうことをやってもらいたいという義務的に設置された団体があるが、これもどれも調査するアンケートとするのか、いや、自主的な団体のみを対象とするのか、そのような点を考慮して実施していく必要がある。

(事務局) 地縁団体と市民活動団体とあるが、前回の結果をみても、自治会は別に議論するものであるという思いです。

(委員) 自主的なグループもあるし、自治会が協力してくださいということで設置された活動団体もあるが、両方なのかどうか。

(事務局) 旧中主では地縁という団体が多い。環境にしても、団体の長が寄って協議会を

組織するという団体もある。本当はクロスさせることが大切だと思うが、意図するところは、NPO的な活動のみとするか、自治会ならいつでも把握できるので対象外とするか、はっきりさせる必要がある。

(委員)自治会では、役員も年度で変わるし、自治会の中で活動しようとするのが難しいところもあり、それを越えて活動しているところが多くある。

(事務局)自治会の問題は、行政の関係のなかで、把握できる面が多くある。活動範囲が自治会のエリアか、というところはあるが、自治会活動以外で活動されている市民活動とどう行政が手を結んでいるかであり、自治会活動の調査をやるという必要は、今はないのではないかと思います。

(委員)方法としてはそれでよいと思う。自治会と分けていくことでよいと思う。

(事務局)自治会と行政が話す機会は多くあるが、行政と市民活動団体には距離があるところがあるため、今回は優先していくということではよいのではないのでしょうか。

(委員)市民活動をどう発展させるのか、という点をアンケートもよいが、この委員会で、みなさんの知恵で話し合いができればよいと思う。

(委員)分類だが、福祉という言い方ではなく、高齢者、障害者の社会参加という分類名でよいのではないか、高齢者イコール福祉ではないと思う。野洲市で安心して生きていける環境をつくっていききたいと思うし、障害者の子たちが働いていけるまちなるよう話をしていきたいと思うし、福祉というと暗いイメージなので、高齢者、障害者の社会参画ということをお願いしたい。

(事務局)対象団体の一覧を作成し、再度会議を開いて決めていくということで、よろしいでしょうか。

(委員)三上ではコミセンの活動で多くやっているの、そうした団体も把握して対象としてもらいたい。

(事務局)そうした新規の団体を整理してわかる範囲で提示させていただきたい。

(委員)このアンケートの内容では、よっぽど活動している団体ではないと、書けないと思うし、中身を精査し、削っていく方がよいと思う。

(事務局)データブックとして把握する部分と、市民活動として課題を整理する部分と明確にしていければよいと思う。

(事務局)次回の会議で、具体的に詰めをしていききたいと思います。

5. その他

～委員会は、定例的に開催日を設定することとし、毎月、第1土曜の午前中とすることを確認する。～

(事務局)次回は、コミセン野洲で、7月2日、土曜日の午前9時30分から、コミセンやすで開催させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

閉会 (午後4時30分)